

太鼓叩いて二十年。

太鼓と共に生きてゆく。

一打一打に想いを込めて、

届け、心に。

響け、世界へ。

— AKATSUKI —  
三芳に舞う一羽の鷹

# 暁

## 和

太鼓——。その歴史は古く、日本神話まで遡ります。日本で

生まれた和太鼓の音には、大きな低音の迫力とどこまでも響き渡るような深みがあり、いつの時代も私たちの心は揺さぶられます。

## 心躍る、和太鼓、

地区の夏祭りや神社の祭礼でも、和太鼓の音は欠かせません。和太鼓の音を耳にすると、なぜか自然と身体が揺れ、心が躍る不思議な魅力が和太鼓にはあります。

海外でも和太鼓の人気は高く、多くの日本人プロ和太鼓集団が誕生し、世界で活躍しています。

## 三芳から世界へ

そんな中、三芳町にも世界に羽ばたくプロの和太鼓奏者がいます。その男の名は鷹-TAKA-。世界和太鼓打ち比べコンテストで優勝した一人の若者は、三芳に、そして世界にどのような爪痕を残すのか。鷹-TAKA-の魅力に迫ります。

## 和太鼓 暁 -AKATSUKI-

2013年結成。力強さとしなやかさを併せ持つ男女混合の和太鼓チーム。「和太鼓界に新たな夜明けを」という意味をチーム名に込め、和太鼓を中心に三味線、書道、篠笛、箏、尺八を駆使した舞台を表現。全員が全国各地にて開催される大太鼓一人打ちのコンテストにて日本一、日本二位を獲得。それぞれがソロ奏者としても活動している。また、全員が教員免許を持っており、指導者として和太鼓を通じた青少年育成にも力を入れている。和太鼓が持つ本来の音の響き「一打」を大切にし、一音一音、一振り一振りに気持ちを込めて演奏する。

メンバー：鷹-TAKA-、塚本隼也、近藤玲未、大塚奈生。